

ご支援を
よろしくお願いいたします



倒木被災した、黒天起記念物「大湫神明神社の大杉」

大湫町 大杉再生 大募金

大湫町コミュニティ推進協議会
電話：027-65-2369
Mail：ooboku@oh-shinai.ne.jp

令和2年9月
第410号



お

お



く
て



手づくり募金箱



おもな内容

- ・「神明神社の御神木倒木」
の思い・思い出 … p 2～p 4
- ・大湫の未来総合計画
プロジェクト … p 5～p 6
- ・勲章を貰って … p 7
- ・丸森だより … p 8
- ・お知らせ



8/16 大杉倒木災害復旧 ボランティア活動

『神明神社の御神木倒木』の思い・思い出

大湫宿の誇るご神木・倒伏

天野 長三郎

1, 300年にわたって大湫宿を見守ってくれた大杉が、7月11日の夜10時過ぎ、突然、根元から倒伏してしまった。

当日は風も吹かず、各地には記録的な降雨があつて、水害による家屋の流失や尊い人命まで失って途方にくれた人も多かった。そんなニュースが聞かれる中で、神明様の大杉が倒れた事は残念の一言であつた。

幸いな事は近隣（玉置家）の一部が破損した程度で、人命に事なきを得たのは「神様のお陰」と言わざるを得なかつた「生者、必滅」はこの世の定め、万物の霊長と言われている人間も130年とは生きられない。風・雪に耐えてきた大杉は「強く生きよ」と何かにつけて励ましてくれた。大湫で生まれ育つた者にとって忘れ難い思い出は多い、遊び場のなかつた町中で子供の遊び場と言えば、小学校か大杉のある神明様だつた。夕方になると生活用水を汲みに来る人や、野菜を洗いに来る人で賑わつた。

時代を振り返るとき、慶長9年に中山道が開通した。宿の東に十三峠、西に琵琶峠と、中山道の中では最も難コースであつた。宿の中央に一本の大杉があり、社が祭られていた。道路奉行も工事の安全を祈つただろう。

宿の整備のための役人や、旅籠も増加して昔の面影は一変してしまつた。その中山道が廃道になつて150年、宿内は火の消えたように衰退してしまつた。

幸か、不幸か、マイカー時代の到来で目的は変わったが、歩く道路としてこれから利用される時代が到来する。東西の峠は絶好の場所となり多くのハイカーが来てくれるような場所になれば願つてもない事である。

来訪する多くの人達は、「馬籠・妻籠にない自然のたたずまい」が何より魅力的だと言う人が多い。大杉の倒伏に力を落とさず頑張りたい。

二本の大杉

大竹 晃

中仙道の開設、皇女和宮の降嫁を見届けた二本の大杉。
白山神社の大杉は、昭和二十二年大湫中学校となり、多くの卒業生を送り出す。その年、猩紅熱が流行る。大杉の崇りとの噂あり。
神明神社の大杉は、樹齢千数百年大湫宿のシンボルとして君臨。
平成の中頃、直径二十センチ余りの枝が落下、周囲に被害なし。その枝の彫刻、八体の円空像の寄贈を受ける。

神明神社の御神木倒木

H・M

7月12日（日）朝、実家の母から「神明神社の大杉の木が昨日夜に倒れた」と電話があり、直ぐには信じられなかった。実家に駆け込み家から神明神社の方向を見たが、毎回見ていた大杉の姿は無かった。神明神社にて大杉の倒木の姿を見て現実を認識した。
子供のころ、大杉の太い幹に駆け上がりどこまで登れるか、子供にすれば十分な広場で子供の遊びを楽しんだ境内に大杉が横たえていた。人的被害が全くなかったことを知り、神社の御神木だからだと思ってしまった。
その後、大杉が倒れて電線を切断し停電を発生させ、近くの民家の屋根等に被害が及んだが、奇跡的な方向への倒れ方、一部破損があった神輿の引き出し、大杉に押し潰された土蔵内からは祭事用の楽器・祭衣装・幟等被害があるものの取り出すことが出来たと聞き、神秘的なものを感じた。
今は、倒木となってしまったがパワースポットの御神木、一部でも現状態で保存できないだろうか。

板橋 仁晃

1,300年の大杉が倒れた、信じられない気持ちで胸が痛くなりました。8年前に、これからも、もっともっと勇姿を誇り大湫町を見守ってほしいと、回復処置をしたばかりだったのでとても信じられない気持ちです。だけど今は、1,300年ご苦労様やすらかに休んで頂きたいです。今まで本当にありがとうございました。

大湫大杉倒木被災にて

O・K

御神木なのに、残念。

大杉の事

天野 裕夫

7月11日に大杉が横になった。巨大な生き物が静かに倒れたという印象である。

子供の頃から大杉の両脇は同級生の基君と政信君の家があり、何かと集まる場所で、木というより神社に塔が建っている感じだった。自分が生きているうちに倒れるとは思わなかった。

8年前に再生の為枯れ枝を沢山切って、その枝を彫刻にした。

100点以上造って、その売り上げもあり2年前に大湫に帰る事ができた。今年4月から神社氏子総代となって3ヶ月で倒れた。この成り行きを僕は偶然とは思っていない。

48年前、小さなコミュニティの息苦しさから逃げるように東京へ行き、彫刻家となった。いつかは帰りたいと思いつけていたが、今大杉が倒れた事である意味町中沸き立っている中で、ここが自分の場所という実感が改めて湧いてきた。

これからどういう風にしていくのか、当座の生活に支障のある部分は取り除いてしまったが、はみ出すくらいの今の状態が「大杉ここにあり」と主張しているようで、本殿から神域の外に向けて対角線に横になった姿を特に本殿から眺めると、立っていた時より迫力と存在感が増した。このすごいものが町の中心に在る事が大湫町の発進力になっていくと思う。

もし将来的に保全の事や神社レイアウトのために切り詰めて短くするのならば、切り離れた部分を僕に彫刻させてほしい。大杉でどう彫刻にするのかはしっかり修行をさせてもらった。僕のアトリエでは対応できない大きさと重さかもしれないし、出来たものをどう展示するかは課題となるが、大杉の存在としての特異さを全面に出すよう良い彫刻にする。

いずれにしろ大変な事ではあるけど、倒れて良かったという事になるように我々は工夫や算段をしていかなければと思う。

写真展

『神明大杉倒木』 大湫町と大杉の物語

日時：8月24日から1ヶ月間展示

土・日曜日・祝日は休館します

場所：大湫公民館 ロビー

みんなで作る

大湫火のミライ 総合計画プロジェクト 2020

アンケートにご協力いただきありがとうございます！

ご回答いただきましたアンケートを青年チームで集計し、里山再生支援を行っている名古屋大学大学院環境研究科教授・博士(理学)の高野雅夫先生の元、アンケート結果から「資源」と「課題」を分析中です。

資源 大湫町の良さや強み

大切にしたいこと、守ってきたいことは何ですか？
回答から上位4つをご紹介します。

- 1位 人と自然が共生した自然環境
- 2位 住民同士のつながり
- 3位 中山道や宿場などの観光資源
- 4位 風習やお祭りなどの伝統文化

課題 切実な地域課題

今後どのような自治活動に取り組むべきか
回答から上位3つをご紹介します。

- 1位 健康・福祉の増進に関する活動
- 2位 農地や自然環境の保全に関する活動
- 3位 子育て支援に関する活動

- 60代・70代の町の担い手の方々からも行事やボランティア活動の多さや、体力の衰えてこれまでに参加が困難になっているなど多数のお声をいただきました。
- 青年チームの会議にて、役を減らす、または簡易化しようという「課題」に付随して、町の人が集まることなどコミュニケーションは大切にしたい「資源」。今後も大事にしたいものは別の形で残したり、引き継ぎたい！との意見が出ました。

アンケートの分析を進め、大湫町の「資源」と「課題」を見極めながら計画づくりに活かしていきます。

当プロジェクトは令和2年度夢づくり地域交付金(ステップアップ事業)に採択され、大湫町コミュニティ推進協議会が管理運営する事業です。実施は一般社団法人サステナに一部業務を委託します。

青年チームの紹介

棚橋哲夫さん



大学以降市外で暮していましたが、子供が生まれたことをきっかけに自分が育った地域で子供を育てたいと思い、大湫に帰ってきました。大湫に住むようになり、自分の子供が将来、住みたいと言ってもらえる、私も子供に帰ってこいと言えるまちにしたいと感じるようになりました。ミライ総合計画の話をしていただいた際に、現在勤務している市役所都市計画課の経験が少しでも大湫に活かさないかと思い、お手伝いさせていただくことになりました。

青年チーム 活動記

- | | | |
|----------------------|------|-----------------------------------|
| 7月9日(木) 19:00~21:30 | 柏家に2 | 高野先生の講義の感想
アンケート集計作業 |
| 7月16日(木) 19:00~21:30 | 柏家に2 | アンケート集計作業 |
| 7月21日(火) 19:00~22:00 | 〃 | 〃 |
| 7月25日(土) 19:00~21:30 | 〃 | 集計中のアンケートを見ながら
町の重点課題や魅力について議論 |



活動予定

8月23日(日) 19:00~ 柏家

9月 2回会議を予定

今後、先進的な取り組みをしている愛知県豊田市旭地区の地域の方を招いて、勉強会の実施を計画しています。(日時は未定)

新型コロナウイルス対策などに充分注意し、状況によってはスケジュールの変更をある場合があります。

勲章を貰って

天野 裕夫

「象豚猪」という焼物とブロンズ、ガラスの複合で造ったイノシシの形の作品を瑞浪北中学校に寄贈したことで、紺綬褒章を貰いました。

2004年から母校の多摩美術大学で客員教授をしています。陶芸の窯が10個も並んでいて、大きいのは1.5立米のガス窯でホイストで1トンまで窯詰めできるので、学生達はあまり大作をやらないので設備が遊んでいる。毎年夏休み明けに僕が窯いっぱい作品を自分のアトリエから持ち込んで焼成するというをやった。

結局6点造り、最初のと最後の作品が窯ギリギリ炉壁に当たるサイズとなり、窯に収まると見学の学生達か

ら拍手を貰い得意顔であった。

最後の作品が「象豚猪」である。どうやっても収まらず、尾のブロンズとの接合部を15ミリ程切った。ホイストで降ろしたら重さで棚板が音を立てて割れカッコ悪かった。作品自体はよく焼けて問題なかったが、大作デモンストラーションはこれで終わりにした。

身体より大きい作品を造る事は造形力を必要とするので、僕がやるのも学生がやるのも意味があるのだが、出来た作品がアトリエの中で存在を主張するので僕の居場所がなくなる。3年前に大湫に帰ると決めた時、瑞浪市市之瀬廣太記念美術館で展覧会を開催してもらい、終了後大作を中心に40点を寄託にもらった。

大湫のアトリエも数える気になれない程作品がたくさんあるので助かつ

た。

この度北中学ができ、水野市長から作品を飾ってほしいと言われ、大きくて自分でも気に入っていて、今の住まいの隣人でもあるイノシシを寄贈させてもらった。

勲章を下さるという事になり、有り難く頂きました。



8月の丸森だより

8月24日現在

丸森をめぐる状況

- 8月の企画：『夏の風鈴祭り』、『被災神明神社大杉の伐採大枝』展示
- *1日 新森現場見学会(市商工課主催)
- *5日～7日
新型コロナウイルス感染拡大防止のため3日間臨時休館。
- *8日 中山道馬籠宿～御嶽宿街道地図を額装。
- *10日、12日
企画『丸森緑陰寺子屋』、感染拡大防止のため中止。
- *13日 岐阜放送、丸森企画『大杉の伐採枝展示』を取材。21日放映。

丸森訪問者

町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
256	23	59	0	338	8
				R2,4月～ オープンから	1083人 32300人

(団体等)

- *21日 旅人企画。約20名で大井方面へ通過

(個人等)

- *8月も、コロナ感染の不安から、依然として客足は伸びず、折からの猛暑もあり、例年の約70%に止まる。マスクを持たずに、入館を見合わせる客も多い。
- *大杉倒木被災見物の来宿者は相変わらずであるが、時を経て多少減少しつつあるように思われる。

9月の企画・予定

- 9月の企画：
『被災神明神社
大杉の大枝展示』
～9/30



『大湫町大杉再生募金』口座開設のお願い

令和2年7月に発生した大雨災害により、大湫町にある樹齢1300年の大杉が倒れる被害が発生しました。大杉の被災を受け、大湫町では『大湫町大杉再生募金』の受付を開始しました。

現地では地元住民を中心に、迅速な再生・復興へ向けて作業を進めています。また、「大湫大杉再生検討会議」をたち上げ、今後どのように大杉を扱っていくのか検討を重ねております。倒れた大杉の大きさから多額の費用が必要であると予想されますが、明確な金額と用途については検討中であることをご理解いただけますと幸いです。

現在、一刻も早い再生・復興に向け、全力で取り組んでおります。皆様の温かいご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

■お振込募金口座■

JAバンク 陶都信用農業協同組合 釜戸支店

店舗番号 6265-056

口座番号 普通 0020467

口座名義 大湫町大杉再生プロジェクト 代表 小栗 司

■お問い合わせ■

大湫町コミュニティ推進協議会

住所 〒509-6471 岐阜県瑞浪市大湫町422-1

大湫町コミュニティセンター

電話 0572-63-2360 FAX 0572-63-0003

Mail ookute@ob.aitai.ne.jp

募金箱を置いてもらっているところ

- ① 瑞浪市役所
- ② 釜戸コミュニティセンター
- ③ 陶コミュニティセンター
- ④ 稲津コミュニティセンター
- ⑤ 日吉コミュニティセンター
- ⑥ 中央公民館
- ⑦ 瑞浪図書館
- ⑧ 化石博物館
- ⑨ 陶磁資料館
- ⑩ 市之瀬廣太記念美術館
- ⑪ 市民体育館
- ⑫ サイエンスワールド
- ⑬ ときわ地域交流センター
- ⑭ カフェ・爨
- ⑮ 自然ふれあい館
- ⑯ ちゃわんや瑞浪
- ⑰ きなあた瑞浪



よろしくお願いいたします

- ⑱ 中仙道ゴルフクラブ
- ⑲ J A (予定)
- ⑳ 大湫コミュニティセンター
- ㉑ 丸森

8月1日 旧森川善章家住宅現場見学会



伝統の木組み(継手・仕口)を紹介してもらいました。

町外・町内のたくさんの人が見学に来られました。



大湫町青少年育成町民会議 特別企画

子供たちのための

倒木被災『神明神社の大杉』見学会と

皮剥きボランティアのお誘い

日時：9月19日(土) 午前9時30分～11時30分

※雨除け、日よけのテントをはります。少雨決行

場所：大湫神明神社 山車蔵前

内容：三戸グリーンドクターによる案内と皮剥き指導

持ち物：マスク、帽子、水筒、手袋、マイナスイオンドライバー(ある人)

駐車場：西駐車場、旧大湫小グラウンド

※参加年齢の制限はありませんが、未就学児の参加は親ごさん同伴で

お願いします。小・中学生、高校生以上もぜひご参加ください。

※コロナ感染予防のため、「新しい生活様式」での参加をお願いします。

当日体調の悪い方は、参加を見合わせてください。

数日前から続いた豪雨もようやく落ち着いたかに見えた7月11日の深夜、大湫神明神社の大杉が根っこから倒れるという、前代未聞の大災害が起こってしまいました。

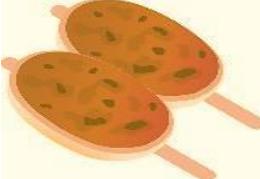
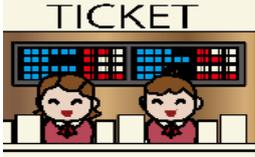
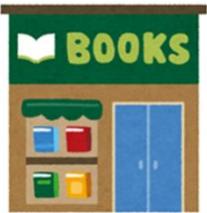
まさか神社境内に横たわった大杉を自分が見ることになるうとは、町民誰一人として思いも及ばなかったはずです。ましてや、子供たちはなおさらです。大湫小が釜戸小と合併して久しく、さらには釜戸中学校が北中となって統合された今日、以前と比べて大湫の子供たちが大杉に触れる機会も少なくなっておりました。

倒木被災以来、大人たちはその復興ボランティア活動に大忙しでした。危険な箇所も多く、子供たちが近寄れる状況にはありませんでした。多少落ち着いた今、自分の育ったふるさとの大杉の最後を見届け、さらには、未来に向けての倒伏大杉の在り方を思い描きつつ、地域社会の一員として復興ボランティア作業に参加することは、これからの子供たちの人生にとっても大きな意味のあることだと思えます。大湫で子育てをしている親ごさんもその思いは同じはずです。

「昔、神明神社の境内には、とてつもなく大きな杉の木があったんじや。それが、わたしが小さい頃に倒れてのお。町中大騒ぎじや。わたしらも、一緒になって大杉の皮を剥いたもんじや。」子供たちが大人になった時、実感を持って、そう伝えていってもらわなければなりません。

青少年育成推進員 向井一峰

大湫公民館・大湫コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより</p> <p>9月のおさそい → お休みさせていただきます。</p>
	<p>おしゃべりサロン『こぶし』（100円コーヒー）</p> <p>当分の間お休みさせていただきます</p>
	<p>大湫宿お休み処</p> <p>≪9月の営業日≫</p> <p>6日(日)・13日(日)・20日(日)・21日(月)</p> <p>22日(火)・27日(日)</p> <p>*当日(お急ぎ)の予約は丸森(☎0572-63-2455)へお願いいたします。</p>
	<p>ご招待券あります (2名様)</p> <p>幻の横浜焼・東京焼</p> <p>日時:9/5~11/3</p> <p>場所:岐阜県現代陶芸美術館</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本</p> <p>『顔の読み方』 <small>テイ ムネテツ</small></p> <p>平凡社 : 丁 宗鐵</p> <p>統計学的な分析をもとに、相手の顔を見て性格や運命を視る観相術。古代の中国やインドでも盛んに研究されてきました。漢方医でもある著者が現代風に、ひもときます。</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール</p> <p>9月のパトロール予定者</p> <p>9月上旬 : 大竹 顕久 : 棚橋 雅美</p> <p>9月下旬 : 木村 伸哉 : 松浦 大哲</p>
	<p>デマンド交通</p> <p>利用者(大湫~日吉東部)</p> <p>7月:18 便 延べ23名</p> <div data-bbox="1037 1845 1417 1998" style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん利用ください。</p> </div>

*集まろう会はお休みさせていただきます。

区長日記

神明神社の大杉倒壊から一か月余りが過ぎ、降雨の中、更には熱波の中続いた、多くの町民をはじめとする支援者の皆さんの災害復旧活動のお蔭をもちまして、神社周辺も少し落ち着いて参りました。本当に有難うございました。

町といたしましたは、この新たに発生しました難題に対処していくためには、多くの皆様のご支援を得なければ乗り切れないとの認識のもと、「神明大杉再生検討会議」を立ち上げ、町民はもとより、行政・政治・学術研究機関等のご支援を得て問題解決に取り組むことといたしました。千三百年にわたって、この地域に多くの恵みをもたらしてくれた大杉の恩恵に思いを致すとき、何年かかっても、将来に禍根を残さないような、復旧復興のあり方を模索して参りたいと思います。

今年は大湫町の将来を方向付ける「総合振興計画の」策定年でもあり、あわせて町民の皆さんと知恵を出し合っ行ってこうではありませんか。

足立

8月1日 「新森」見学会・小学校記念碑現地調査

6日 県文化財審議会委員大杉現地調査

7日 市文化財審議会委員大杉現地調査

12日 大杉倒壊災害復旧市長協議

13日 第三回大杉再生検討会議

14日 区長会・幹事会

15日 戦没者慰霊祭

16日 神明神社大杉倒壊災害復旧活動

17日 JR東海リニア新幹線工事説明

18日 陶都信用農協組会長大杉災害支援協議

23日 西森ワイワイプロジェクト懇談会

稲津町まちづくり会長「総合計画」視察

25日 公民館運営委員会

26日 第四回大杉再生検討会議

27日 転入対策委員会

28日 名古屋大学調査班神明大杉現地調査

令和二年九月行事予定

日	曜	予	定
三	木	市長と語る会	中止
四	金	定例区長・幹事会	クテの市
六	日	パターゴルフ場草刈り	クテの市
七	月	財産区全員会議	
九	水	大杉再生検討委員会	
十	木		クテの市
一三	日	町内奉仕作業	クテの市
一七	木		クテの市
一九	土	子供連の大杉見学会	
二〇	日	敬老会 中止	クテの市
二一	月	《敬老の日》 注連縄づくり 中止	
二二	火	《秋分の日》	
二三	水	大杉再生検討委員会	
二四	木		クテの市
二六	土	小学校記念碑作業	
二七	日	モニタリング調査	クテの市
二九	火	広報委員会	

不燃ごみ:9/4(金) 資源ごみ:9/18(金)

編集後記

クテの市は、公民館前で毎週木曜日と日曜日に野菜の販売が行われています。8月はカボチャ・オクラ・キュウリ・トマト・ピーマン・モロヘイヤ。めずらしいオカヒジキも並んでいました。

「どうしたらこんなに来るんだろう？」
7月は長雨と日照不足。8月は高温で雨がまったく降らない日が続き、人も野菜も大変です。猫の額ほどの我が家の畑は、ほとんど収穫する物がありませんでした。

昔から作っている人は、長年の経験でさまざまなハードルを乗り越える知恵を身につけているのかなあと感心します。

9月はどんな野菜が並ぶのか楽しみです。

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和2年9月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp>